

千八百七十九年十月廿七日刊行横濱ヘラルド新聞抄譯
日本補助貨幣ノ事



516



114
A 3090



大正十一年四月
限侯爵郵寄贈

鬼頭悌二郎譯

千八百七十九年十月二十七日刊行橫濱ニラルル新聞

抄譯

兵庫ヨユ一ニ新聞ニ曰ク
 外國諸銀行ノ内一銀行ニ於テハ己ニ此頃來日本補助貨幣ヲ香
 港新埠坡ノ兩地ニ向ケ統々輸出セリ是レ畢竟以上ノ兩地ニ於
 テハ五錢モ拾錢モ兩貨トモ餘程ノ需求アリテ頗フル有用ノ色
 アルニ由ルナリ
 上海刊行ノ如ルクリノ号新聞ニ由レハ上述ニ於テハ日本補助
 貨幣ノ供給充分ナルカ故ニ若シ人アリ一ドルラ此ノ洋銀ヲ推
 出スルニ來リテ之レヲ兩替屋ニ出シ日本補助貨幣ト交換セハ五錢銀
 貨貲拾貳(即チ壹圓十錢)ト外ニ二十文ヲ得猶ホ巨額ノ交換ニ至
 リテハ一層洋銀高相場ノ勢ナリト

大正十一年四月

我同業記者、
者カ暫ラク日本補助貨幣ヲ地金ト見做シテ以テ其紙分ハ只僅
ニ六割ニ止ルトナス。記者、誤謬タルヲ免レス。嗚呼記者、迷
フヤ太シ何トナレハ余輩ノ信スル所ニ依レハ洋銀ト日本補助
貨幣同類トノ間ニ於ケル真價ノ差ハ決シテ毫割八分以上ニ出
テザルヘシトスレハナリ
米國カリフォルニアニ於テモ日本五錢銀貨ヲ頗フル需求スル
至レリ。カンフランシスコ、フレチン号新聞ノ言ニ由レハ
凡ソ日本五錢銀貨ハ小賣買上ニ於テ授受スルヲ常トス依テ
若レカンフランシスコニ此五錢銀貨アラハ猶ホ一層流通ス
ルハ容易ナリト又某仲買人ノ如キハ此五錢銀貨ヲ凡ソ一千
ドルラ内外モ販賣セリト
抑モ日本五錢銀貨ノ米國ニ需ボアルハ左ノ二事ヲ以テ証スル

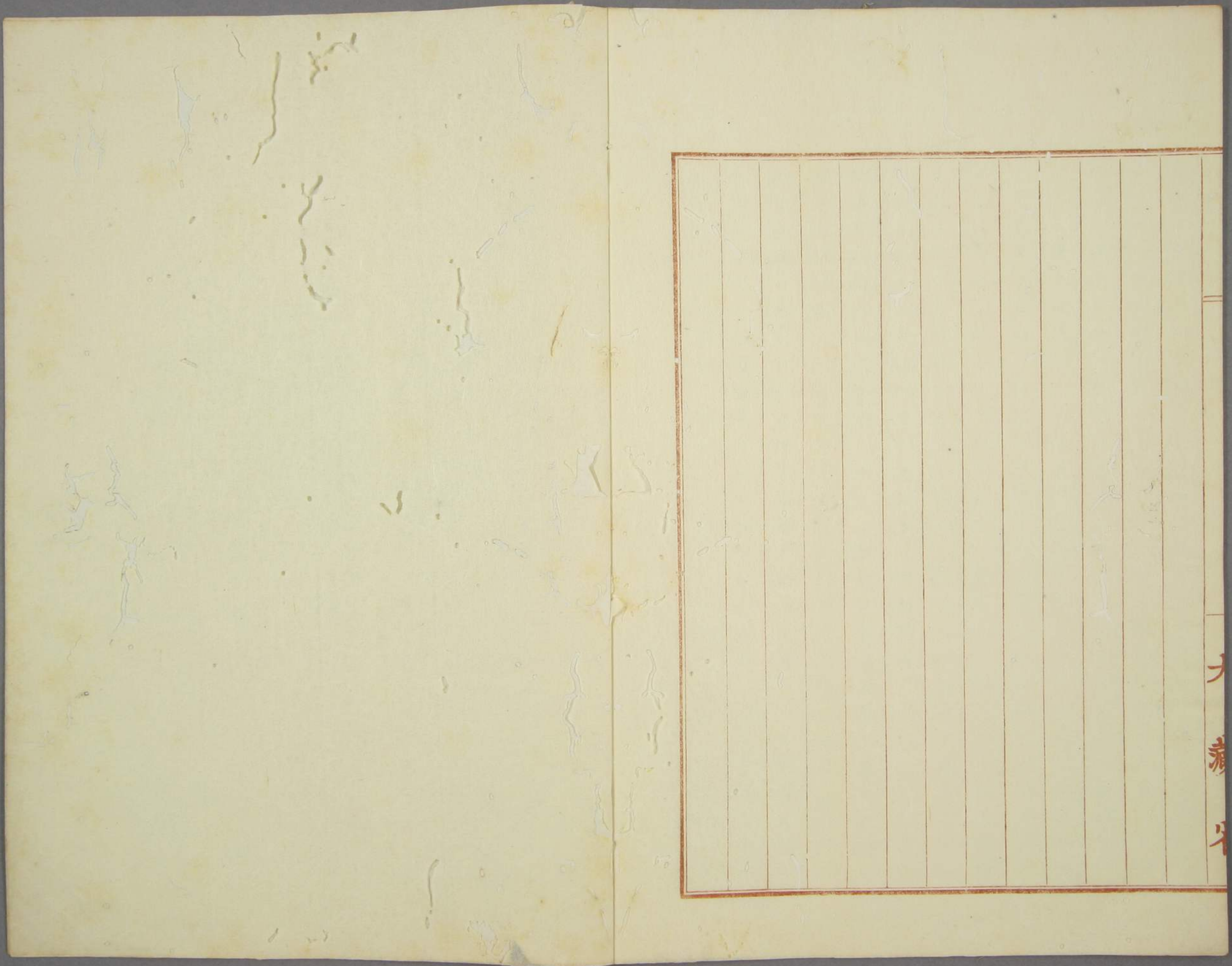
ニ足レリソハ他ナシ一ニハ五セントノニツケル貨ヲ鑄造シテ
以テカリフォルニアニ通用セシメントノ議アリタレ其議終
ニ行ハレサリシトニハ米國々會ニテ五セント銀貨幣ヲ再
造通用スルノ議ヲ拒絕セシト此ノ二事是レナリ
ブレチン新聞ニ由レハ日本五錢銀貨幣ハ米國半ダイ銀貨ト
其紙分同等ナリトス然レハ五錢銀貨幣ハ方小々量目重モシ何
トナレハ五錢銀貨五拾ト米國半ダイ銀貨五十七ト同量目ナレ
ハナリト
ブレチン記者カ斯ノ如ク五錢銀貨幣ハ米國半ダイ銀貨ト其
紙分同等ナリト言セシハ實ニ以テ上海タルクリ記者カ五錢
銀貨幣ノ紙分如何ヲ論セシモノ、誤謬タルヲ証徴スルニ足レ
リ
ブレチン記者曰ク日本五錢銀貨幣ハ奇麗ノ貨幣ナルカ故ニ

必ラス目下流行ノ乗車切手等ニ代用セラル、ナルヘシト(記者
曰ク現ニ米回等ニ於テハ諸市内ハ普ク鐵路ヲ敷キ其上ニ馬車
往復ヲ開キテ以テ市内ハ遠近ノ差別ナク五銭若クハ十銭位ツ
ニ乗車往復スルノ法ヲ設ケ馬車同屋ヨリ一時ニ乗車切手
ヲ買置キテ入用ノ節之レヲ用ユルヲ常トナス故ニ今日本補助
賃ヲ以テ此ノ切手ニ代用スルハ乗車人ニ取リテハ此五銭賃
ヲ以テ當ニ車料而已ナラス其他ノ品々ヲモ自由ニ購求シ得ル
ハ故ニ頗フル便利ノ法トナルヘシ己ニ横濱ニ於テモ人力車ニ
此便法ヲ用ヒタル由)

今ヤ米回ニ於テ此等日本補助賃ハ全賃ト平價ニ通用シ(嗚呼補
助賃ノ價モ亦貴ヒ哉)且ツ又米回半ダイハ賃ヨリモ多量ノ銀分
ヲ含有スルカ故ニ最早今日ニ於テハ實ニ三ツケル賃等ノ代用
ヲ俟ツニ及ハス

我横濱全業記者等ノ如キ凡ツ事ノ大小輕重ヲ同ハス日本ノ事
ナレハ何事ヲモ颠倒センコトヲ好ム者ハ日本ノ補助賃幣カ太平
洋ノ兩側ニ於テ今日ノ如キ好愛ヲ得ルニ至リレヲ聞知スルハ
定メテ不愉快ノコトナルヘシ

今日ノ物状己ニ斯ノ如シ然ラハ横濱全業記者等ガ之レヲ視テ
愉快トナスモ不愉快トナスモ毫モ關係ナシ



大
清
年

